

# 南三陸 復興まちづくり通信

第13号(平成27年7月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 伊里前地区防集団地で現地見学会

歌津伊里前地区で進められている高台移転工事の現地見学会が6月7日、「柘沢」、「中学校上」の両団地で行われました。午前中に行われた柘沢団地の見学会には、住宅再建を目指す入居予定者約60人が参加。町や工事施工業者の担当者から説明を受けながら、造成地を見て回りました。同団地は当初、59戸の宅地を整備する予定でしたが、辞退者が出たため、空き区画解消を求める国の方針により、6区画を削減して53戸とする計画が発表されました。

午後は中学校上団地でも同様の見学会が行われ、災害公営住宅入居予定者らも加わり、約80人が参加しました。

同団地でも計画の見直しが行われ、整備戸数が当初の56戸から51戸に縮小されることが決まりました。



(中学校上団地の造成地を見学する参加者。奥は災害公営住宅)



(柘沢団地の造成工事現場)



(7月末にオープン予定の「軽食ちょこっと」)

## 広がる「木の家づくり互助会」の輪

町産材を活用した住宅建設を推進している「南三陸木の家づくり互助会」(小野寺寛会長)の活動の輪が着実に広がりを見せています。互助会システムによる建物は、既に町内だけでも農漁家レストラン、地域の集会施設など3棟が完成。6月には戸倉波伝谷地区に食事やコーヒーなどを提供する「軽食ちょこっと」が着工し、7月末のオープンを目指して工事が進んでいるほか、今月11日には板倉の小屋2棟の建設が予定されています。さらに、来年春には、板倉構法による本格的な木造住宅2棟の建設が始まります。

## 公営住宅入居予定者の「くらしの懇談会」

志津川東・中央・西の3地区や伊里前などで整備が進む大規模復興住宅の入居者向けのくらしの懇談会が6月20・21日の両日、役場や歌津総合支所、登米市などで開催されました。このうち、南方仮設の集会所での懇談会には、39世帯44人が参加。希望する街区毎のグループに分かれて交流したほか、役場担当者に入居に当たっての疑問点などを質問しました。復興みなさん会のメンバー4人も、ファシリテーターや記録係として、懇談会のサポートをさせていただきました。



(南方仮設住宅の集会所で開かれた懇談会の様子)



(これ全部新築の住宅です！＝寄木・葦の浜団地)

## 高台団地で住宅建設ラッシュ

町内に完成した高台移転の造成地で、住宅の建築が急ピッチで進んでいます。歌津地区で最も早く宅地の引き渡しが行われた寄木・葦の浜団地では、整備された40区画のうち、すでに9戸が完成し、新居での暮らしが始まっています。現在は13戸が内装などの工事中で、さらに7戸が基礎工事などに取り掛かっており、造成地はまるでハウスメーカーの住宅展示場のようです。9月には、団地内に両地区の住民が利用する集会所の建設工事が始まる予定で、来年1月末の完成が見込まれています。

## 復興みなさん会の総会が開催されました

当会の平成27年度総会が6月25日、志津川の上山八幡宮社務所で開催されました。

平成26年度の事業報告と決算報告が承認された後、平成27年度の事業計画と収支予算案などについて協議が行われ、いずれも原案通り議決されました。本年度は、町が主催する「くらしの懇談会」の運営をサポートする活動を積極的に展開していくという方針が確認され、6月に開催された2回の懇談会への参加報告が共有されたほか、反省点の振り返りが行われました。



(復興みなさん会の総会＝上山八幡宮社務所)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)

当法人は、トヨタ財団、大阪コミュニティ財団等の助成金を受けて、活動を行っています。